

東京応化工業株式会社 「TOK Vision 2030」



tok

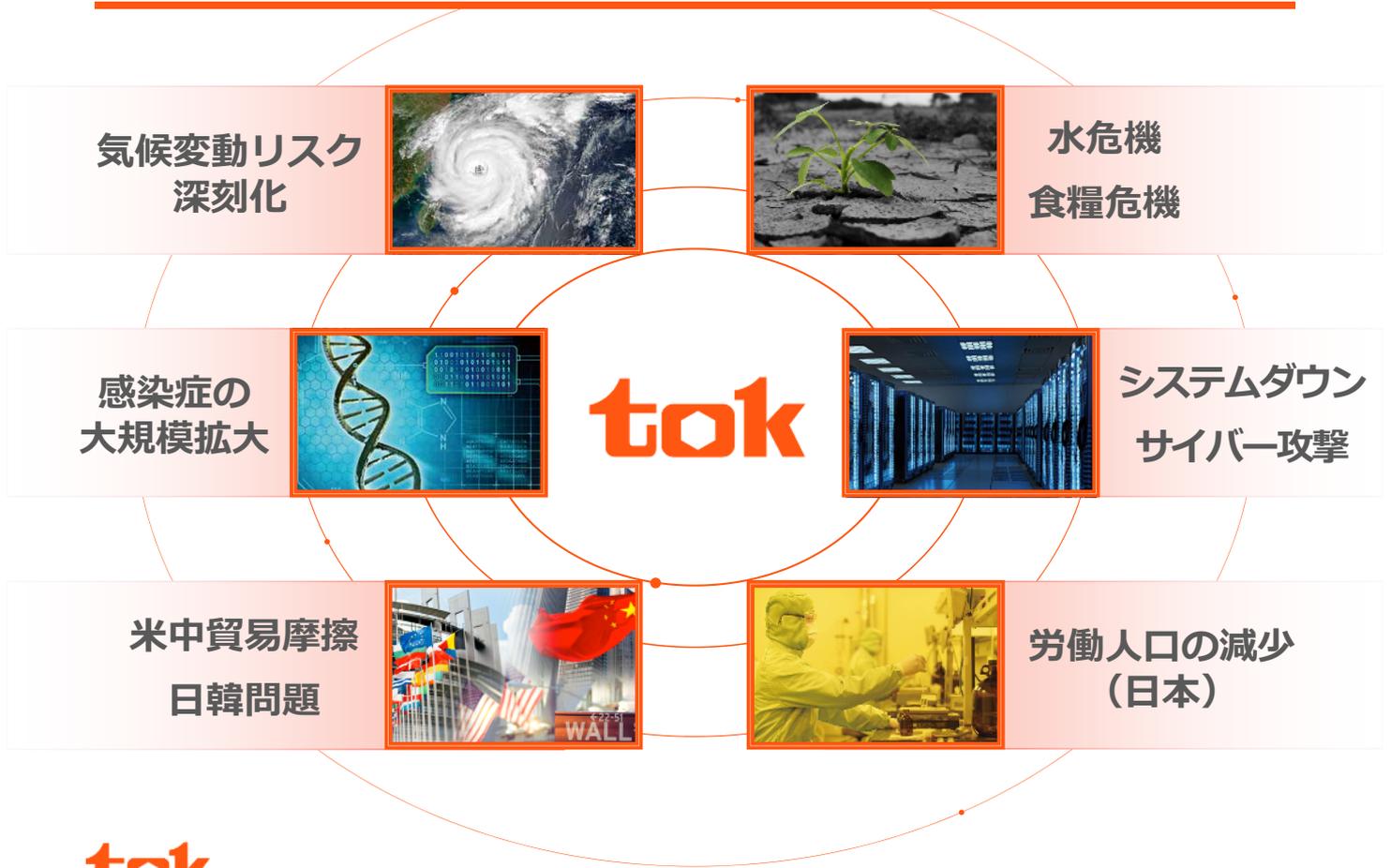
2020年8月7日
東京応化工業株式会社

2030年の社会

01



tok



経営ビジョン

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company”

未来への価値創造



定性側面

- 顧客が感動する新しい付加価値を提供する
- 世界のステークホルダーから信頼される
- 高い技術力を育成し続け、グローバルで存在感を示す
- SDGsに貢献することを意識し、企業価値を持続的に向上する
- 皆が生き活きと誇りをもって働ける

定量側面

	2020年度修正予想	2030年度
• 売上高	1,117億円	2,000億円
• EBITDA	204億円	450億円
• ROE	6.5%	10%以上

(注) 2020年度の数値は2020年12月期業績予想（2020年8月6日現在）に基づく数値。



© 2020 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

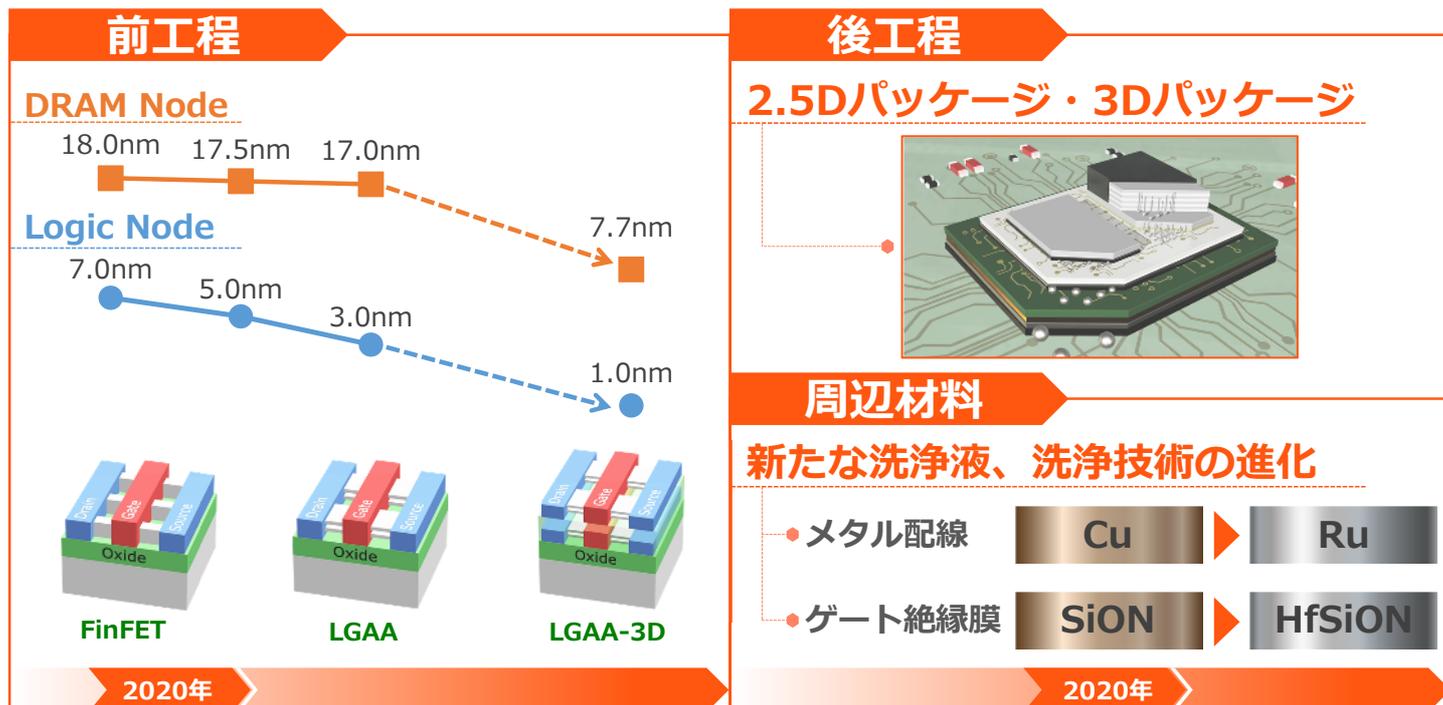
経営戦略



© 2020 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



- 半導体製造における前工程・後工程の進化は今後も続き、周辺材料の進化への要求も続く



(出典) INTERNATIONAL ROADMAP FOR DEVICES AND SYSTEMS™ 2020UPDATE



- 電子材料分野の深耕と開拓
- 2040年の事業ポートフォリオを見据えた新事業創出





市場性・将来性が読みにくい
開発テーマへの挑戦



BSマネジメントの推進

キャッシュ創出力の最大化

新KPI (EBITDA) の導入による
各事業戦略をモニタリング

効率的な経営資源活用

新KPI (ROIC、同ツリー) の導入

強靱なBS構築

適切なキャッシュリザーブ維持
資金調達力の強化・多様化





グローバル人材活用

人材開発・組織開発

ダイバーシティ&インクルージョン

- 顧客の新たな価値創造につながるソリューションへの対応



生産拠点のリノベーションによる新たな価値の創造

高品質生産体制の構築

環境・安全衛生体制の強化



DXの推進

環境整備 (DATA Warehouse AI/DX人材)

- MI (Materials Informatics)
- スマートファクトリー等



社会ニーズ



豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company”





www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

tok

© 2020 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.